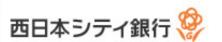
News Release



各 位

平成24年11月26日

西日本シティ銀行 NCB リサーチ&コンサルティング

消費者動向調査 No.111 「冬のボーナス使いみち調査」 ~ 特別テーマ「主婦の『消費税増税に対する』意識調査」 ~

西日本シティ銀行(頭取 久保田 勇夫)は、消費者動向調査を定期的に実施しております。 今般、当行の連結子会社である NCB リサーチ&コンサルティング調査部と共同で「冬のボーナス使いみち調査」を実施いたしました。また、本年8月10日に消費税増税法が成立したことを受け、特別テーマとして「主婦の『消費税増税に対する』意識調査」を合わせて実施し、調査結果がまとまりましたので、概要をお知らせします。

記

. 「冬のボーナス使いみち調査」

調査時期:平成24年10月

調査対象:福岡県内のボーナスがある家庭の主婦500人 (うち回答者479人、回答率95.8%)

調查結果要約

u 今年の冬のボーナス支給予想 前年冬と比較して「多くなる」は 4.8 ポイント増加。 前年冬よりも、ボーナスが「多くなる」は 4.8 ポイント増加し 11.3%、「少なくなる」は 6.7 ポイント減少し 19.9%。

(調査結果本文2P)

u 冬のボーナスの使いみち予定、1位は「貯蓄」で62.8%。2位は「旅行・レジャー」で36.7%。 冬のボーナス支出予定1位の「貯蓄」は62.8%で、前年冬の53.0%より9.8ポイント増加した。2位の 「旅行・レジャー」は8.7ポイント増加して36.7%。

(調査結果本文3P)

u ボーナスを貯蓄する目的、1位は「将来の教育費のため」で41.5%。2位は「将来の生活費補 てんのため」で37.8%。

景気の先行きや雇用に対する不安は依然強く、将来への備えが上位を占めている。

(調査結果本文4P)

u 冬のボーナスを貯蓄する場合の考えは、「元本の安全性を重視したい」が55.1%で1位。 景気回復の動きに足踏みが見られる中、安全性を重視する割合が引き続き高水準。

(調査結果本文5P)

u 関心がある金融商品 1位は「預貯金」で今年の夏より 0.7 ポイント増加し 79.1%。 「預貯金」への関心は 年々高まり 79.1%。

(調査結果本文 6P)

u 冬のボーナス、自由に使える金額は、前年冬に比べて夫は2千円アップ。妻は1千円アップ。

ボーナスが「多くなる」と予想する割合が増加したのを反映し、「自由に使える金額」は前年冬から若干増加した。

(調査結果本文 7P)

. 特別テーマ「主婦の『消費税増税に対する』 意識調査」

調査時期:平成24年10月

調査対象: 福岡県内のボーナスがある家庭の主婦500人 (うち回答者479人、回答率95.8%)

調査結果要約

u 増税前に購入を検討しているものはあるか:

『検討しているものがある』は 24.0%、 『今後検討したい』は 26.5%、 『検討していない』 は 49.5%

『検討しているものがある』と『今後検討したい』の合計は50.5%で、『検討していない』の49.5%を若干上回った。

(調査結果本文 1P)

u 検討しているものがある方と答えた方、購入を検討しているものは何か: 『自動車』は53.0%、『家電製品』は48.7%。

年代別では、20~50代は『自動車』の回答が一番多かった。

(調査結果本文 2P)

u 今後検討したいと答えた方、購入を検討したいものは何か: 『家電製品』は54.3%、『自動車』は52.8%。

年代別では、20代、30代、50代は『家電製品』の回答が一番多かった。

(調査結果本文 3P)

以上

調査結果本文はこちら

この調査に関するお問い合わせ先は

西日本シティ銀行 広報文化部 近道・青谷 TEL 092-461-1869 NCB リサーチ&コンサルティング 調査部 原 TEL 092-476-3051

当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。